**技術・家庭科（家庭分野）学習指導案**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 羽曳野市立高鷲南中学校

指導者：T１　教科担当教諭

　　T２　学校栄養職員

１．日時　　　　　　令和６年11月11日（月）第３時限

２．場所　　　　　　第１学年３組　教室

３．学年　　　　　　第１学年３組

４．題材名　　　　　持続可能な食生活をめざして「もったいないやん　へらそう食品ロス」

５．本時の指導

（１）本時の目標

・食品ロスの問題が様々な要因によるものであることを理解するとともに、環境への影響が少ない消費の仕方が

　わかる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識及び技能】

・自身や家族の食生活（消費生活）の中から食品ロスの問題を見出して、解決に向けて具体的な方法を考えるこ

とができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考力、判断力、表現力等】

・食品ロスの問題が、自分、家族、地域の人、一人一人の考え方や日常生活における行動と深く関わっているこ

とに気づき、学んだことを自らの生活や行動に工夫し実践しようとする。　　【学びに向かう力、人間性等】

（２）食育の視点

　　　私たちの暮らしは、生産・流通・消費などの食に関わる人びとの様々な活動に支えられていることに気づき、

環境保全や食品ロスの視点も含めて、環境や資源に配慮した食生活を実践するために、何が必要かを考えるこ

とができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（感謝の心）

６．教材観

　　　日本政府はSDGsに関連する施策の実施について、全国務大臣を構成員とする「持続可能な開発目標（SDG s実施指針）を決定している。同時に、家庭での努力も必要であり、食品の廃棄や水の無駄遣いなど、身近な問題を考え、見直すことで、環境への悪影響を少なくすることができる。このような社会的課題がある中で、家庭科の学習の中でも、持続可能な開発のための教育（ESD）を行っていくことが求められている。生徒が生活を見直し、環境への影響を考えて実践していくためには実生活を意識することがとても大切である。

食品ロスは日本や世界の課題であるだけでなく、生徒たちの身近でも起こっている課題である。学校・家庭・そして地域社会それぞれに食品ロスの問題を抱えており、その探求を通して、様々な知識を得、その改善方法を考えることは、生徒が今日的な食糧問題を含む様々な環境問題を自分事として捉え、生徒自らの生活の改善に結びつくものと考える。本題材は、中学校学習指導要領技術家庭「家庭分野」の内容「C消費生活・環境」の（２）「消費者の権利と責任」にあたる。本単元は、既習の学習内容を想起させ、「衣食住の生活」の（3）「日常食の調理と地域の食文化」などとも関連させながら、食品を選択する際に、自分や家族の消費行動が、環境への負荷を軽減させるなど、望ましい消費者としての視点を加えて考え、計画を立てて実践しようとする意欲と態度を育てることをねらいとしている。本時の学習に当たっては、、持続可能な社会を見越し環境に配慮したよりよい家庭生活ができるよう、現実的に考えられるようにしていく。そして、それをもとに、より良い食生活を自ら実践していく態度を育てたい。

７．生徒観

　　個人情報が含まれるため削除

８．指導観

　　　本時では、大阪名物「たこやき」ができるまでに、どこでどんな食品ロスが出ているかゲームを通して考えさせる。食品ロスなどの社会課題や食生活の裏側を知ることで、自分の食生活を振り返り、持続可能な社会の構築を意識した食生活の実践へとつなげていくことを目的としている。よりよい食生活とは、自分の食の内容を充実させるだけでなく、そこに付随する消費行動を通した人々の協力が不可欠である。食品ロス削減は、自分たちの明るい未来につながっていく、この学びがSDGs達成への取り組みの第一歩になるということに気づかせたい。そこで、「食品ロス削減推進サポーター」であり、学校給食の献立、調理の工夫、残食率を把握している栄養教諭と一緒にティーム・ティーチングを行うことで、持続可能な社会を見越し、環境に配慮したよりよい家庭生活ができるよう、現実的に考えられるようにしていく。生徒が身近な対象との関りを通じて自分ごととして考える、その先にSDGsに出会っていく本学習を通して、環境を意識した生活を理解し、自分たちの生活の仕方で現代社会の状況を変え、持続可能な社会を実現していくきっかけとしてほしい。そして、今後の生活においても実践しようとする態度を養いたい。

９．本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導入  ５分 | ○資料「ポスターやのぼり」を見て、どのような目的で作られたのか、何を訴えているものなのかを考える。  ○「食品ロス」に関わる日本の現状について知る。 | ○資料「ポスターやのぼり」を提示し、目的を考えさせる。  ・「食べ物捨てたらもったいないやん」をキーワードに、食べきる食品ロス削減への取り組みが大阪でも行われていることを伝える。（T2）  ○「食品ロス」について多角的に考えることができるように、いろいろな角度から例をあげ、自分の食生活が社会的問題とつながっていることに気づかせる。（T1）（T２）  食品ロスを減らすためにできることを考えよう |
| 展開  35分 | ○班別でカードゲーム「なんでやろう？食品ロス」体験をする。  ・たこやきが生産者から私たちの食卓に届くまでに、いろいろなところで発生する食品ロスについて考える。  ・ゲームの感想交流を行う。  ○これまでの説明やゲームからの学習を踏まえ、身近な食品ロス削減（解決）方法を考える。  ・学校の給食時間やお家、外食、買い物で出る食品ロス（事前アンケート調査結果の内容）から原因と削減方法を話し合い、班で1つのスライドにまとめる。  〇班の意見をクラスで共有（発表）する  〇食品ロス削減のために自分ができることは何かを考える。 | ○大阪名物「たこやき」ができるまでに、いつどこで、どんな理由で食品ロスが出ているか、その食品ロスを減らすためにできることについてカードを使って考えさせる。（T1）（T2）  ・運ばれる時にも食品ロスが出ることをおさえる。  ・様々な食品ロスを減らすための方法があることに気づかせる  ○共有した意見を班別にスライドに記入させる。（T1）（T2）  〇指名して発表するよう指示する。（T1）  ・同じスライドに書き込むことで、他者参照ができるようにする。  ・書き出すのに戸惑う生徒には、声をかけ、ワークシートやスライドなどを使いながら思考の整理ができるようにする。（T2）  ・買い物では、お客側とお店側の視点でできること、協力してできることを確認しながら考えさせる。  ・「食べきること、給食を注文しない」以外で何かできることはないかと投げかける。（T1）  ※多様なアイデアを出させることを重要視  ※アレルギーの食べ物や体調などで残してしまうことに留意  〇食品ロス削減のために自分ができそうなこと、できると思うことを順番にワークシートに記入させる。（T1） |
| まとめ  ５分 | 〇食品ロス削減のための例、事業者（給食等）が行っている活動を知る。  ○「食品ロスとその後」についてと、「SDGsと食品ロスのつながり」について知る。  ※授業後、タブレットで振り返りをする。 | 〇家庭と事業者が協力してこそできる、食品ロス削減のための取り組みを伝える。（食べること以外の取り組み）（T2）  ・給食の食品ロスを再利用した「豚の飼料」としての活用やWFPマーク付きの給食用牛乳について伝える。  〇食品ロスが燃やされるだけではなく、埋め立てによって、海の生き物まで影響が出ることを伝える。（T1）  ○食品ロス削減はSDGsのどれに関係があるかを考えさせる。  ・ポスターのアイコンSDGs（12）に気付かせ、アイデアとSDGsのつながりを説明する。  ・アイデアや発想が社会の問題を解決することにつながっていくこと、食品ロス削減のためには、それぞれの立場でできることがあることに気づかせる。  まとめ：身近にできることから一人ひとりが取り組んでいくことが大切  ○食品ロスを減らすことは、食べ物を大切にすること、食べ物に関わる全ての人への感謝の気持ちを表すことにもなることを伝える。（T2）  ・今後自分はどのように食品ロスに関わっていこうと思うか、環境や資源に配慮した食生活を実践するために、何が必要かを記入させる。  ※大阪府今日からはじめる冷蔵庫革命配布 |

１０．評価

・食品ロスの問題が様々な要因によるものであることを理解するとともに、環境への影響が少ない消費の仕方を理解

している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識・技能】

・自身や家族の食生活（消費生活）の中から食品ロスの問題を見出して、その課題を解決する力を身につけている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考・判断・表現】

・食品ロスの問題が、自分や家族、地域の人、一人ひとりの考え方や日常生活における行動と深く関わっているこ

とに気づき、学んだことを自らの生活や行動に工夫し実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

＜板書計画＞

まとめ：一人ひとりの行動が大切

SDGs12

つくる責任・つかう責任

・食品ロス量

１日　約1億　個分

家庭から50％

◎食品ロスの現状

食品ロスを減らすためにできることを考えよう

食品ロスを減らすためのアイデアは？

**食品ロス**

食べられるのに捨てられてしまう食べ物

「大阪府おいしく食べきろう」大のぼりとポスター